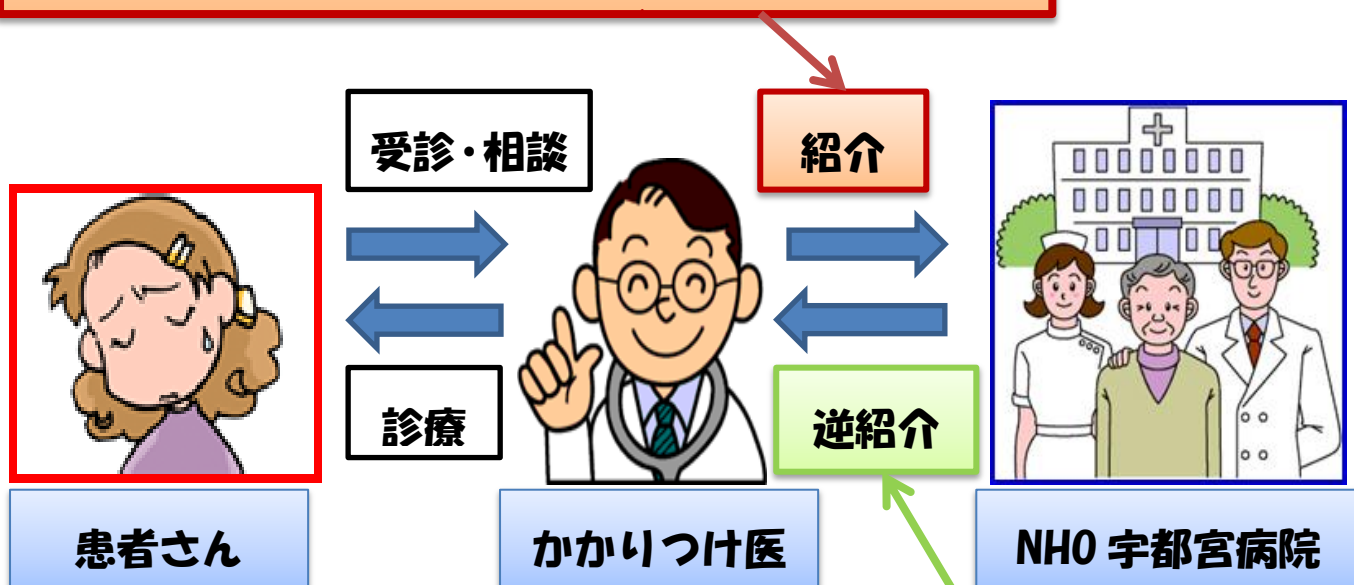


## 患者さんへお知らせ

当院は地域医療支援病院として地域の医療機関との連携及び機能分化\*に取り組んでいます。当院を受診される際には、かかりつけの先生からの**紹介状(診療情報提供書)**をお持ち下さい。

※かかりつけの先生と入院医療を行う当院とは役割を分担し、医療連携をしています。

- ・入院検査、入院治療 ・専門治療（がん等）
- ・手術などの外科的治療（外科・整形外科）



- ・治療や検査が終わり経過観察が必要なとき
- ・症状が安定したとき

# 患者さんへお願い

当院受診(初診)時には、紹介状(診療情報提供書)をご持参ください。

かかりつけの先生に「紹介状を書いてください」とは言いにくいです。



そんなことはありません。かかりつけの先生と当院では役割が異なります。\*「患者さんへお知らせ」を参考にして下さい。  
また、紹介状(診療情報提供書)の持参をお願いすることには理由があります。

## 《理由の例》

### ●他院で内科疾患の治療していた方が、当院への通院治療を希望される場合

○これまでの検査結果や経過がわからないと、同じ検査をもう一度行うことになり時間とお金がかかってしまいます。→患者さんの負担が大きくなります。

○大学病院や大きな病院に通院されていた場合も同じです。紹介状をお持ち下さい。

### ●手術や内視鏡検査を行う可能性のある方

○現在の治療や内服薬の情報から当院で安全に治療・検査が受けられるようにします。

・血が止まりにくくなる薬を飲んでいるかもしれないので確認が必要です。

・現在飲んでいる薬を治療・検査時にどうすればよいか確認します。

・治療・検査時に薬の調整が必要になるかもしれません。

— 外科や整形外科を受診される場合でも、内科的な治療経過やお薬の情報は大切です。かかりつけの先生からの紹介状をぜひお持ち下さい。 —